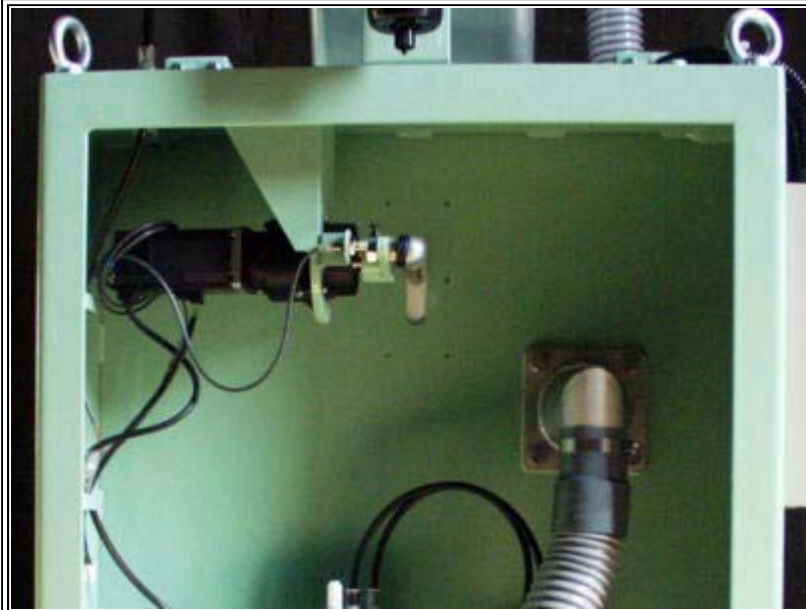


## NAIL18-N型

投入ゲート駆動部をエアシリンダからサーボモータに変える事によって、投入ゲート開度(口径)を任意の位置で止める事ができます。  
また開閉のスピードも制御(電氣的に)側にて変える事ができます。  
従って、今まで難しかった事ができるようになりました。  
一例として、20kgと10kgの2種類の計量をおこなう場合です。  
計量槽は、20kg用に製作されますので、10kgの計量を行う場合、大投入のゲートを開くだけで10kg以上入る恐れがあります。  
製品が計量槽の底部に到着しないと重量値にならないために、ゲート~計量槽底部の空間にある製品だけで10kgを越える場合です。  
対策としては  
1. 10kgは中小投入ゲートだけで計量する方法:10kg計量の時間が長くなる。  
2. 大投入の開のスピードを遅くして10kgを計量する方法:大投入のスピードを殺すために、今度は20kg計量が遅くなる。  
サーボモーターですと  
10kg計量は、大投入に相当するゲート口径を小さくする事で解消できます。  
デメリットが無い訳ではありませんが、メリットが多々あるサーボ式計量機です。



## 機械構造



1. ゲートが1枚になり簡素化されました。
2. 計量槽本体には、変更はありません。
3. 構造自体は、いままでの構造を継承しています。
4. ゲートは、小投入に相当する部分の形状が変更されています。
5. 投入ゲートの筐体は、従来通りの物です。
6. 計量室とサーボモーター室も従来の構造を継承しています。
7. 停電を考慮して、供給ゲートを計量槽内に入れ込む構造にしています。
8. 現行のN型計量機もサーボ形式に移行が可能になります

## 制御

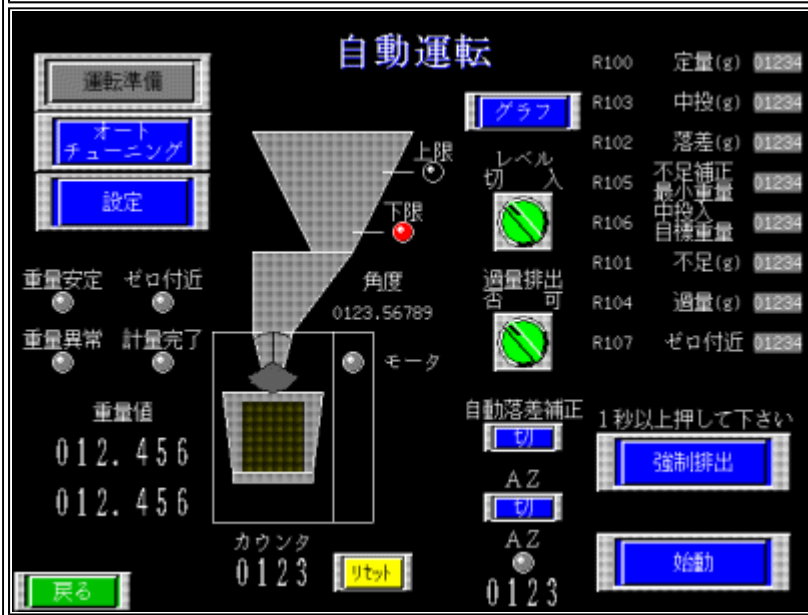


### 主な電気部品

1. タッチパネル(三菱)
2. ロードセル指示計F805(ユニパルス)
3. サーボドライバ(三菱)
4. 位置決めユニット(三菱)
5. シーケンサー(三菱)
6. サーボモーター(三菱)

パネル面はタッチパネルのみで操作します。

試作制御盤・1号機は指示計以外は全て三菱電機製で統一しました。使用メーカーを変える可能性はありますが、特殊部品は使用しない方法で行います。



### 主な機能

1. 銘柄選択機能
2. 自動ゼロ調整機能
3. 自動落差修正機能
4. 量目不足自動補正機能
5. オートチューニング機能